

ISO/TC 17直轄規格 (黄色ハイライト: 進捗中のプロジェクト、肌色ハイライト: 予備段階・プロジェクト未承認、灰色ハイライト: 前回報告からの変化点)

委員会	規格番号	版	発行年度	ステージ 2025/7/15	2025年度活動	2026年度活動	規格名称(英文) (カッコ内は仮称)	規格名称(和訳) (カッコ内は仮称)	対応JIS	内容
TC17	ISO 4885	3	2018	90.92	—	—	Ferrous materials — Heat treatments — Vocabulary	鉄鋼製品—熱処理用語	G0201	2023年のSR投票結果(改訂すべきとの技術コメント多数)によって、改訂を決定(下記)。
	ISO/DIS 4885	4	20xx	40.20	CD完了 DIS (~1/2)	FDIS	(同上)	(同上)	(同上)	WG29(コンビーナ中国)がWD作成、日本意見はF01.00分科会に意見照会して反映済。CD完了し、現在DIS投票中。賛成投票。
	ISO 4948-1	1	1982	90.92	—	—	Steels — Classification — Part 1: Classification of steels into unalloyed and alloy steels based on chemical composition	鋼一分類—第1部: 鋼の化学構成に基づく合金と非合金との分類	—	2024年TC17総会で独が改訂提案、その後のCIBでスコープ拡大(鋼の定義を追加)を伴う改訂を決定(下記)。
	ISO/DIS 4948-1	2	20xx	40.20	WD完了 CD省略 DIS (~3/2)	FDIS	(同上)	(同上)	(同上)	WG30(コンビーナフィンランド)でWD作成。従来の非合金鋼と合金鋼との分類を、合金鋼を低合金鋼と高合金鋼とに分類し、マイクロアロイ鋼を低合金鋼のサブクラス、ステンレス鋼を高合金鋼のサブクラスとして細分を追加。非合金鋼と合金鋼の境界値を一部修正、日本意見はF01.00分科会に照会して反映済。CIBでCD省略を承認。現在DIS投票中。賛成投票
	ISO 4948-2	1	1981	90.93	—	—	Steels — Classification — Part 2: Classification of unalloyed and alloy steels according to main quality classes and main property or application characteristics	鋼一分類—第2部: 鋼の主な品質、特性又は応用性能による合金と非合金との分類	---	—
	ISO/TS 4949	2	2016	90.93	—	—	Steel names based on letter symbols	鋼の種類の記号の付け方	---	—
	ISO 6929	2	2013	90.93	SR	—	Steel products — Vocabulary	鋼製品—用語	—	2024年にSR投票を行い、確認を決定。
	ISO/DIS 21763	1	20xx	40.20	CD完了 DIS完了 (~12/1)	FDIS	Guideline for Smart Manufacturing in Iron and Steel Industry	鉄鋼分野のスマート製造に関するガイドライン	---	2022年TC17総会で中国が規格制定を提案、WG28(コンビーナ中国)でWD作成、CD完了し、DIS投票完了・承認された。今後、TC17でDISコメント処理が行われる予定。なお日本は、鉄連・AI特別Grが参加し、日本意見反映済。賛成投票(一部コメント提出)。
	ISO/PWI 25690	1	20xx	00.60	NP投票 PWI登録	(PWI)	Steel slag-Determination of the expansion-Immersion expansion method	鉄鋼スラグ—膨張係数—水膨張試験方法	A5015 道路用鉄鋼スラグ	2024年TC17総会で中国が規格制定を提案。中国のProposed draft(水膨張試験方法、JIS A5015の規定も含む)に基づき、NP投票の結果、賛成かつ参加国不足によってPJ未承認となり、PWIとして登録。日本は、鐵鋼スラグ協会に意見照会して意見付き賛成・積極参加で投票。
	ISO/AWI TR 26176	1	20xx	20.00	PJ承認 WD	CD DTR	Recycled iron-steel raw materials	リサイクル可能な鉄鋼原料	(精査要)	2024年TC17総会で中国がTR制定を提案。中国のProposed Draft(スクラップ関連の用語の定義、スクラップの品質分類など)に基づき、CIBでPJ承認、WG31でWD検討開始。日本は鉄連・スクラップ国際規格WGが対応。